

from

ほうかつ

令和5年7月発行

特集!

認知症になっても安心した暮らしを ～地域で支える! チームオレンジのご紹介～



認知症地域支援推進員
江尻 しのぶ

榊葉町では、「みんなで支え合い 幸せを実感できる まち」を基本理念として様々な福祉計画が策定されています。『第8期榊葉町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画』によると、榊葉町では令和5年に高齢者が2,300人を超え、高齢化率は36.4%と推計されているほか、認知症になることへの不安や認知症予防への関心が高いことが分かっています。

今回は、認知症の方やご家族を支えるための榊葉町での様々な支援体制や、“認知症の方を優しく応援できる町づくり”として新しく進められる「チームオレンジ」の取組をご紹介します!

新しい取組が
進められています!

「チームオレンジ」のご紹介



榊葉町で新しい取組となる「チームオレンジ」が進められています。チームオレンジとは、町に暮らす私たちがひとつの“チーム”となり、認知症の方への見守りや声かけができるような早期支援のネットワークをいいます。そして特徴的なのは、認知症の方自身もメンバーの一員としてチームに参加することです。

チームオレンジは、認知症になっても誰もが安心した暮らしを続けられるように、地域の皆さんと一緒に作りあげる“見守りやちょっとした声かけ”のネットワークです。認知症サポーター養成講座を受講された方を対象にステップアップ研修を開催し、チームオレンジの一員になっていただきたいと思っています。皆さんのご参加をお待ちしています。



民生委員
児童委員



認知症の方やご家族を支える取組があります

認知症初期集中支援チーム



認知症初期集中支援チームは、医療・介護の専門職のアドバイスのもと、認知症と思われる方やご家族の介護負担等への早期対応支援を行います。

ご近所さん同士
皆で支えて
いきたいね!



チームオレンジ



認知症地域支援
推進員の私が
解説します!

認知症ケアパス の活用



認知症ケアパスは、認知症の方やご家族が、「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービスが受けられるのか等のサービス提供の流れをまとめた冊子です。役場や地域包括支援センターで配布しています。

認知症カフェ 「なごめ～る」の開催



認知症カフェ「なごめ～る」は、認知症の方やご家族のほか、どなたでも参加できる集いの場です。今年度も開催予定です♪

認知症サポーター 養成講座



地域包括支援
センターで講座
を受けられます
♪♪♪

オレンジリングは
サポーターの証です!



介護福祉 サービス

- デイサービス
- 訪問介護
- 訪問看護
- ショートステイ
- 在宅福祉サービス

地域交流サロンの 活用



地域交流サロンは、昼食作りやレクリエーションを行い、日中楽しく過ごす集いの場です。

地域共生ケア会議 の開催



地域共生ケア会議は、課題を抱えるご本人やご家族について、関係機関が現状を整理し、今後の支援について協議する場となっています。

認知症サポーター養成講座は、認知症への理解を深め、地域で認知症の方やご家族を手助けする「認知症サポーター」を養成する講座です。榊葉町では、すでに966人がサポーターとなって活躍中です!! (令和5年3月末現在)

高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 榊葉町大字北田字鐘突堂5-5 (榊葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談ください。



『鳥の目』『虫の目』で地域を捉える

～“ならばならでは”の地域づくりの現在地～



生活支援
コーディネーター
小林

私は生活支援コーディネーターとして、普段あちこちの地域におじゃましています。今回は、榑葉町の地域づくりがどのように進んでいるのかを、『鳥の目』と『虫の目』の視点からご紹介いたします！鳥になった気持ちで榑葉町全体を見渡す『鳥の目』と、虫になった気持ちで地域の細部に着目する『虫の目』で地域を捉えると・・・どのような発見があるのでしょうか！？

その①『鳥の目』のように地域を大きく捉えると・・・



発見!

町全体を見渡すと、あちこちの地域でご近所さん同士が集まって地域ミニデイが行われていたり、手芸や詩吟のほか様々な趣味の活動が行われていることが見えてきました。老人クラブの皆さんと榑葉小学校の子どもたちとの世代間交流や、福祉農園に集まって野菜の苗植えを行ったりと、地域の活動が活発です！今年の夏は、数年ぶりに夏祭りが復活する地域もあるそうですよ♪

その②『虫の目』のようにひとつの地域に着目してみると・・・



発見!

ひとつの地域に着目してみると、毎日畑に出かけて野菜作りをしたり、自宅庭先の花の手入れをする元気な皆さんの様子が見えてきました。地域の集いの場に出かけなくても、毎日何かすることや行く場所があり、いきいきと生活している方が多いと気付きます。また、民生委員さんの訪問やご近所さんが互いに声をかけたりする“顔の見える関係”が、地域のつながりを作っているのだと感じました。

「お元気ですか？」の会話から、最近の出来事や趣味の話に花が咲くことがあります。普段から何気なくご近所さん同士の気かけ合いができていることが“ならばならでは”の地域づくりだと感じます。これからも、地域の様々な様子をお届けします！

fromほうかつ ころむ

社会福祉士 渡邊 正道



「私の最近の介護予防」

面談の中で「趣味や最近の楽しいことは何ですか」と質問させていただくことがあります。その意図としては、気分転換の方法や前向きに取り組めそうなこと等の確認を行い、予防の活動に取り組むことがあげられます。

私が質問を受けたら真っ先に「最近は菜園づくり」と答えます。過去に発行した『fromほうかつ』にもちらほら書いていましたが、昨年度からの農福連携の影響を受けまして、猫の額程度の菜園に取り組んでいます。

4月からは「種まきからの育苗」にも挑戦してみまして、「芽が出た」と発芽はうれしく、「なかなか大きにならない」と育苗には日々不安を感じています。自分自身でも意外でしたが、発芽した時には声をかけたり毎日毎日気になったりしてしまうものなんですね。現在私の介護予防の菜園づくりですが、今後の『fromほうかつ』にも結果の報告ができるように頑張っていきたいと思います。



～ みんなのつぶやき ～



センター長 磐城

紫外線が強い時期です。私は目をいたわる為に、運転には注意しながらサングラスをかけることも！肌への影響など、健康被害をおこす可能性もある紫外線。皆さんも注意してください。



主任介護支援専門員
兼認知症地域支援推進員 江尻

料理が得意じゃない私。生まれて初めて梅シロップ作りに挑戦！！上手にできました～。



生活支援コーディネーター 小林

炊飯器が壊れて以来、土鍋でご飯を炊いています。ふつふつと炊き上がるお米の音を聞くのがささやかな至福です。



素朴な疑問コーナー

Q. 認知症サポーターは、全国でどのくらいいるの？

A. 全国キャラバン・メイト連絡協議会のホームページによると、全国でおよそ1,451万人います(令和5年3月末現在)。人口のおよそ11.6%がサポーターとして活躍しているんですね♪